

特別競技規則書

2012 JFTA九州地区選手権シリーズ／全日本選手権九州大会

(1) 開催日、競技会名称、主催者、開催会場

| シリーズ | 開催日 | 競技会名 | 主催者 | 開催場所 |
|------|--------|-----------------|--------------|-------------|
| 第1戦 | 4月 8日 | シャロレーカップ | 4×4企画シャロレー | ゴンドーシャロレー牧場 |
| 第2戦 | 6月 3日 | ライズトロフィー | Rise Project | 土壇場 車楽 |
| 第3戦 | 8月 5日 | スポラカップ | スポラレーシング | 錫山オフロードランド |
| 第4戦 | 10月 7日 | シャロレートライアルマスターズ | 4×4企画シャロレー | ゴンドーシャロレー牧場 |

※ 第4戦シャロレートライアルマスターズのPクラスは全日本選手権九州大会と併催

- (2) 競技の種目 4輪駆動車によるオブザベーショントライアル(減点方式を採用した競技)
- (3) 適用規則 JFTA(日本4×4トライアル協会)競技規則書2007ならびに車両規則書P&N 2007/巻末車両規則2012
- (4) クラス Pクラス(改造)、Nクラス(ノーマル車両)、NPクラス(ノーマル改造)
Nクラスにおいては国が認める有効な車検に適合している事。
本年のノーマルクラスの対象車は車種を問わない
- (5) 公認 JFTA(日本4×4トライアル協会) ※NPクラスはJFTAの公式公認クラスとして認められておりません。
- (6) 参加資格 JFTA並びに本競技会の趣旨に賛同し、スポーマン精神をもって行動できるもの。
大会適用規則とともに本特別競技規則書を遵守できるもの。
- (7) 参加者の了承事項
- 1] 参加者の自己責任 本競技会の参加者は競技車両及びその付属品の破損、紛失、盗難の場合、会場の物品を破損した場合、観客に対する事故の場合等について、いずれも理由の如何にかかわらず、その責任を各自が負わなくてはならない。
 - 2] 主催者の免責 本競技会の参加者は主催者、大会役員、JFTA、大会スタッフ、コース所有者が一切の損害賠償の責任を免除されている事を了承しなければならない。
すなわち、競技中におきた死亡、負傷、車両損害に対しては一切の責任を負わないものとする。
 - 3] 損害賠償の追及 本競技会の参加者は、万一事故が本大会主催関係者の手違いにより起こった場合であっても非難や責任の追及及び損害賠償は主催者、大会役員、JFTA、大会スタッフ、コース所有者に請求できない事を了承しなければならない。
 - 4] 主催者の権利 本大会に関する全ての著作権、肖像権、発表権は主催者側にあるものとする。
- (8) 賞典 シリーズ各1～3位にトロフィー及び副賞 参加数により変動することがある。
- (9) 入賞の資格 シリーズ全4戦中、最終戦を含む、2戦以上の参加をする事とし、獲得入賞ポイントのトータルで争う。同ポイントの場合、Pクラスでは参加比例逆算ポイントの順位で決定。Nクラスでは入賞時のクリーン数のトータルで決定する。それでも決着がつかない場合は、最終戦の順位で決定する。
- (10) ポイント
- | | |
|---------|---------------------------------------|
| 第1～3戦 | 1位・10点、2位・7点、3位・5点、4位・4点、5位・3点、6位・2点 |
| 第4戦/最終戦 | 1位・14点、2位・10点、3位・7点、4位・5点、5位・4点、6位・3点 |
- さらに、各戦ごとにN、NPクラスでは7位～10位に各1点が記録される。
このポイントはJFTA全日本選手権Nクラス大会(キングオブキングス)の参加資格に利用できるが出場枠がオーバーすると獲得ポイントが多い選手からの選考となる。
第4戦のPクラスは全日本選手権と併催で行うために別途全日本選手権のポイントがJFTAで記録される2頁に掲載
- (11) 参加料
- (12) 入場料 ※入場料はシャロレー主催の競技会で徴収するが第2戦、第3戦では入場無料となっている。
1台(定員まで)/1千円(選手も含む) 九州4×4トライアル選手会会員は無料。但し、入場の際選手会カードを提示してチェックが必要。大会前夜のキャンプ料は1名/1千円でゴンドー牧場が管理する。
- (13) 参加申込 2頁に掲載/正式申込書にも掲載
- (14) 申込の締切 尚、正式申込み用紙はコピーでも構わないが用紙サイズの拡大、縮小は禁ずる。
第1戦及び第4戦については事務局は正式申込を受けた後にエントリーカード(受理書)と注意事項を郵送する。指定日以降に到着した申込についてはエントリーカードの郵送は行わない。大会当日、会場本部席ではエントリーカードで事務処理を行う。エントリーカードが無い手続きについてもペナルティが課せられる。
参加料が未納の場合、正式申込とは認めない。この場合もペナルティの対象となる。
尚、一旦払い込まれた参加料は理由の如何にかかわらず返還しない。ただし、大会の中止、延期は除く。
- (15) 参加の取消 主催者は本人に理由を示さず参加を拒否出来る。この場合、参加料は返送料と事務処理料2千円を差し引いて返還する。車検が不合格で参加が出来ない場合、事務処理料2千円を差し引いて返還する。
- (16) 車両検査(1) 参加車両は主催者が定めた場所、時間にドライバー立会いの上、公式車検を受けなければならない。但し、JFTAスーパーゼッケン選手の車両検査は省略する場合がある。
車両規則書の基準に達しない車両は車両検査で確認の上、参加を認めない。競技途中、車両に著しい損傷、欠陥等で車両規則書に満たなくなった場合は競技委員長の判断で未消化セクションの出走を拒否出来る。但し、選手はエスケープカリタイヤの選択が出来る。
Nクラス入賞車両については競技終了後、再車検を行う場合がある。その際、違法な改造と主催者が判断した場合入賞を取り消し失格とする。
- (17) 車両検査(2) Nクラスにおける車両検査は国が認める有効な車検を有していても主催者の判断で失格とする場合がある。最終的な権限は主催者の判断に委ねられている事を参加者は理解しなければならない。
Nクラスは車両がその状態で公道を走行できる車両で競技することにある。
オーバーフェンダーは認めるがフェンダーからタイヤがはみ出さない事。
NPクラスにおいては車検が無い車両も受け付けるがドアを取り外した場合は競技者の足が飛び出さない様にドライバー側にサイドバー等の装備を必要とする。
- (18) 公式通知 競技中に新たな公式通知があった場合、そこに表示された事項に限り有効とする。
競技参加者はこれを確認する義務がある。
- (19) 競技者の装備
- 1] ヘルメット JIS2種以上又はそれと同等以上のもので耳を覆うタイプのものである事。
 - 2] グローブ 完全に手を保護し手首より指先まで覆う事の出来るを着用の事。
素材は運転に支障が無い耐熱性のものが望ましい。
軍手、ビニール系の素材、指先の露出、甲部分のメッシュタイプは不可。
 - 3] 服装 競技に相応しい服装で首より下の皮膚が露出しないもの。
耐熱性のドライバーズーツが望ましい。
 - 4] シューズ 安全性に優れ運転操作に支障をきたさないもの。レーシングシューズの着用が望ましい。
 - 5] 競技会当日は選手本人の保険証を持参している事。